

中央社会保険医療協議会 総会 . (第9回) 議事次第

平成13年10月24日 (水)
9時30分～10時30分 (目途)
厚生労働省省議室 (9F)

議題

- 1 既存薬の分類作業結果について
- 2 医療用具に係る保険適用の取扱いについて
- 3 高度先進医療専門家会議の結果について
- 4 臨床検査に係る保険適用の取扱いについて

中央社会保険医療協議会 総会議事概要（案）

1. 日時

平成13年8月22日（水） 9：59～11：04

2. 場所

厚生労働省17階専用第18・19・20会議室

3. 議題

- ・医薬品の薬価収載について
- ・医療用具に係る保険適用の取り扱いについて
- ・歯科用貴金属の価格改定について
- ・その他

4. 議事の概要

- 初めに、医薬品の薬価収載について薬価算定組織の矢崎委員長が説明をした。これに関する主な質疑は次のとおり。質疑の後、中医協として了承された。

（1号側委員より）

- ・ 全薬工業の「リツキシマブ」は原価計算方式で算出した薬価と、アメリカでの薬価が同じであるが偶然そうになったのか。現行ルールどおりの計算方法だとしても、26万円は高額である。

（薬価算定組織委員長より）

- ・ 日米お互いのメーカー同士で原価が決められている可能性もある。輸入原価の算定方法についても今後中医協で検討していただきたい。

（2号側委員より）

- ・ 輸入医薬品については特に不当に高額な値段がついており、それが医療費体系を歪めている。類似薬効比較方式、原価計算方式どちらにしても根本的に見直さなければならない。

（薬価算定組織委員長より）

- ・ 類似薬効については現在新たに成分分類を作成しており、アカデミックに議論しているので、我々の中である程度是正できている。

- 次に、医療用具に係る保険適用の取り扱いについて、事務局から説明をした。これに関する特段の質疑はなかった。

- 次に、歯科用貴金属の価格改定について、事務局から説明をした。これに関する特段の質疑はなかった。

- 次に、老人の受診動向について、事務局から説明をした。これに関する主な質疑は次のとおり。
 - (1号側委員より)
 - ・ 老人医療の外来受診者件数及び日数の表に、診療内容をあわせたデータが必要である。(事務局より)
 - ・ 現在集計作業中なので、まとめ次第提出したい。

- 次に、二百五円ルールに関する資料について、事務局から説明をした。これに関する特段の質疑はなく、今後基本問題小委員会で審議することとされた。

- 次に、今後の中医協の進め方について、事務局から説明をした。これに関する主な質疑は次のとおり。
 - (1号側委員より)
 - ・ 十月から十二月の三ヶ月間はほとんど毎週会議であり、従来と同じような日程である。医療経済実態調査や薬価調査等の調査が早まっていないのは残念だ。社会医療診療行為別調査の結果報告についてはどうであるか。(事務局より)
 - ・ 一日に総会と部会など二回以上はできるようにしていく予定である。また審議によっては延長することなどもあると思われるが、各委員の協力をいただきたい。医療経済実態調査他、各調査については鋭意集計および督促しているので、まとめ次第報告したい。

(以上)

類似薬選定のための薬剤分類案について（報告）

平成13年10月24日

類似薬選定のための薬剤分類委員会

本委員会は、平成11年12月の中医協了解に基づき、平成12年6月に設置され、類似薬の選定の透明化を図る観点から、効能・効果、薬理作用等に着目した既存品の分類作業を進めてきた。分類作業結果については、本年5月に中医協に中間報告したところである。

その後、本分類案に対し提出された410件のコメントについて検討を行い、薬理作用の記載等について必要な修正を行い、1201分類からなる分類案（別添）をとりまとめたのでここに報告する。なお、主なコメントとこれに対する本委員会としての考え方については別紙のとおりである。

本分類案については、中医協の了承を得た上で、実際の薬価算定作業において用いられることになるが、薬理学の進歩や新薬の承認等により、類似薬の範囲は今後変動することが考えられ、本分類案についても必要に応じ見直しを行っていくことが必要であると考えます。

また、薬剤に関する情報提供が求められる中で、本分類案についても、薬価算定における類似薬選定のために作成されたものであることに留意しつつ、国民や医療関係者に対し情報提供されることが望ましいと考える。